

今と未来をつなぐ人へ あなたの夢を叶えたい

高知県立 高知国際中学校・高等学校

Kochi Kokusai Junior and Senior High School (KKHS)

平成30年4月 中学校開校

平成33年4月 高等学校開校

～地域や社会、世界とつながる学校～



(イメージ図：敷地は現在の高知県立高知西高等学校)

高知県教育委員会

平成29年2月発行

自ら考え、自ら学ぶ、

育成する人材 地域や国際社会の発展に貢献できるグローバル人材の育成

- ・変動が激しく、将来の予測が困難な社会において、多様な文化的・歴史的背景を持つ外国の人々と密接にコミュニケーションを図りながら、高い志を持って主体的・協働的に課題解決を図るとともに、新しい価値を創造していく姿勢や能力を持った人材を育成します。
- ・社会や経済のグローバル化が進む中で、国際的な視野を持ち、かつ国際共通語である英語を駆使して、地域や国際社会の発展に貢献できる人材を育成します。

校名 高知県立高知国際中学校・高等学校

上記の「育成する人材」を体现する教育目標及び教育内容を校名として示すため、「高知」という地名、グローバル人材を育成することが一目瞭然である「国際」という言葉を冠し、「高知国際中学校・高等学校」としました。



教育目標

グローバル社会で求められる高い志と、資質・能力を育む

- ① 自ら学び、考える力を身に付け、生涯にわたって学び続ける態度を養う。
- ② 多様な価値観を尊ぶ精神を持ち、他者と共に生きる態度を養う。
- ③ 豊かな創造性を持ち、未来を切り拓く、自主・自律の精神を養う。

中学校の目標

グローバル人材の基礎となる英語運用能力や探究力を育成します。
文部科学省の学習指導要領で示されている学力についても確実に育成します。

高校（グローバル科・探究コース）の目標

外国の人々と協働できる高い英語運用能力と探究力、バランスのとれた国際感覚と行動力を、学習指導要領を通して育成します。

高校（普通科）の目標

外国の人々とコミュニケーションできる英語運用能力と、多様な進路選択を可能にする探究力をはじめとする確かな学力を育成します。

高校（グローバル科・IBコース）の目標

探究コースの目標を世界基準の国際バカロレア教育を通して育成します。

学校全体の取組 本県のグローバル教育のトップ校としての取組

英語教育の充実

外国の人々とコミュニケーションを図りながら協働できる英語運用能力を育成する教育
〔英語を母語とする教員による少人数の授業や習熟度別授業など〕

探究型学習の推進

自ら課題を見出し、そのことについて主体的・協働的に課題解決を図るとともに、新しい価値を創造していく教育
〔各教科での主体的・対話的で深い学びによる探究型学習など〕

キャリア教育の推進

志を持って、自らの将来を切り拓いていく力を育成する教育
〔総合的な学習の時間等での多くの人と出会う講演や体験活動など〕

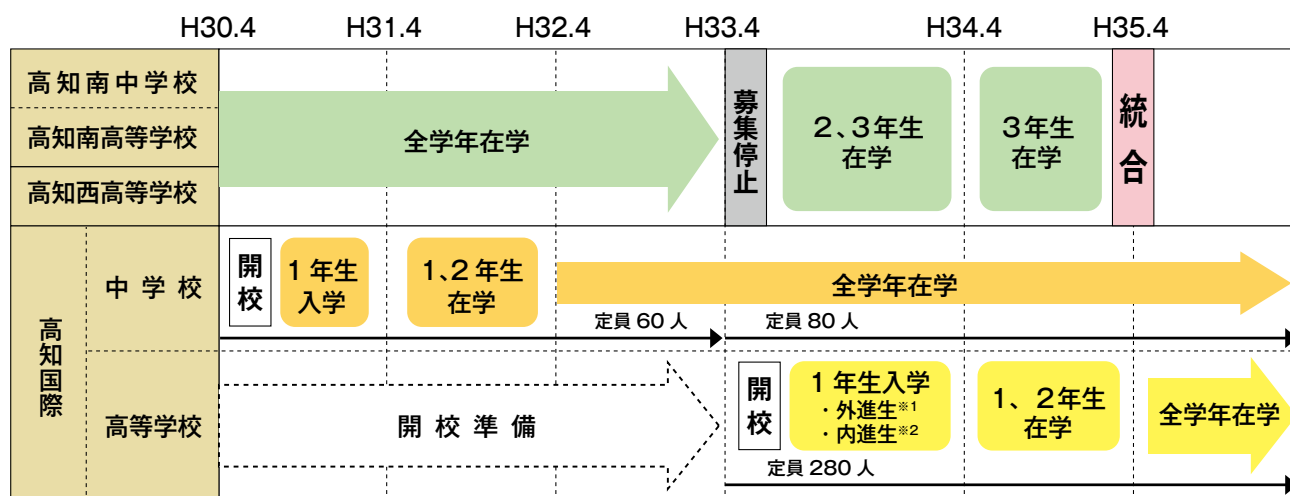
国際バカロレア（IB）とは？	○国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラムです。 ○IB認定校は、平成28年12月1日現在、世界140以上の国・地域に4,677校あります。日本では、 国公立校は東京都内の2校のみ （東京学芸大学附属国際中等教育学校、東京都立国際高等学校）。高知県にIB認定校ができれば、 国公立では中四国以西で初となる予定 。 （「国際バカロレア機構」及び「文部科学省」ホームページから引用し、分かりやすく説明を加えたもの）
IB認定校になるには？	IB認定校となるには、申請から認定までに、 関心校、候補校、認定校 の段階があり、各段階には、明確に区別された申請項目と審査があります。そして、国際バカロレア機構の認定訪問を受け、認定要件を満たすことで認定校となる予定。 （「国際バカロレア機構」及び「文部科学省」ホームページから引用し、分かりやすく説明を加えたもの）

新たな学びがここにある!

身に付けるスキル

- 思考** … 課題発見、課題解決、創造的思考、論理的思考、概念的思考など
- コミュニケーション** … 母語（日本語）での表現力、高い英語運用能力、人間関係形成など
- リサーチ** … 情報リテラシー、情報モラル、情報活用など
- 自己管理** … 自己理解、自立、自律、自己実現など
- 社会性** … 協働性、社会貢献、社会奉仕、社会参画など

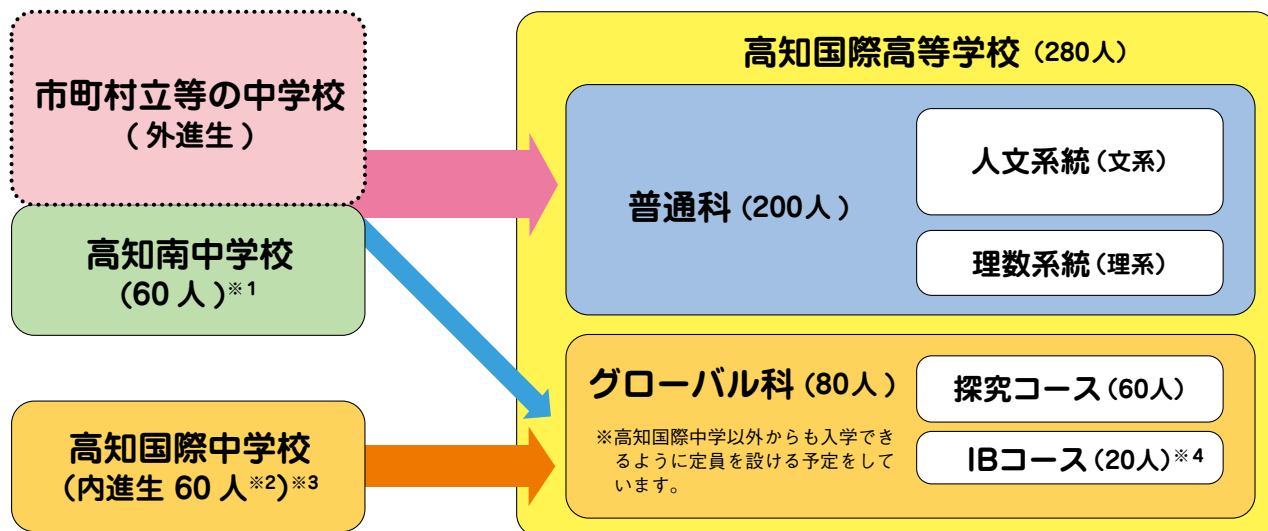
■統合までのスケジュール



※1 外進生：高知国際中学校以外からの入学生。 ※2 内進生：高知国際中学校からの入学生。

■中学校入学生（平成30～32年度）の高校進学イメージ

定員（人数）は予定（平成29年1月末現在）。



- ※1：高知南中学校の平成30～32年度入学生は、基本的に高知国際高等学校の普通科へ入学。「基本的に」とは、中学校3年間の学力の定着状況（学校で実施する定期考査や実力テスト、各教科の評価等）や学校生活の状況等をもとに、高知国際高等学校で学修できるかを総合的に判断したうえで、普通科への入学を許可。なお、グローバル科への入学については、入学定員の枠内で、グローバル科の学びに適應できるかを上記の内容で総合的に判断したうえで、許可。
- ※2：平成33年度からは80人とする予定。
- ※3：高知国際中学校のMYP（ミドル・イヤーズ・プログラム：中学校段階のプログラム ④ページ参照）については、試行期間を経て、1B校の認定を受けてから実施。
- ※4：高知国際高等学校のグローバル科IBコースのDP（ディプロマ・プログラム：高校段階のプログラム ⑧ページ参照）については、1B校の認定を受けてから実施。

高知国際中学校

Kochi Kokusai Junior High School

- ・国際バカロレア教育のプログラムを用いて、文部科学省の学習指導要領に基づいた学習を行います！
- ・グローバル人材の基礎となる英語運用能力や探究力を育成します！

① 高校までの一貫した教育システムを展開

- ・文部科学省の学習指導要領に基づく、確かな学力の定着を図る教育活動
- ・将来を見据えた併設高校でのコース選択（探究コース又はIBコース）に向けた進路指導

② MYP ※下記参照 の教育活動を実施予定

- ・生徒の疑問や興味・関心を大切にする授業展開
- ・主体的に学び、活動し、表現することを重視した学習活動

③ より実践的な英語力を育む語学教育の充実

- ・1年次から英語を母語とする教員による授業
- ・1、2年次は1クラス15人で学習

目標 英検準2級 100%取得

④ 学校外での課外活動の充実

- ・世界や地域、異年齢の人々と出会う活動
- ・放課後や休日を活用した主体的な活動

IB体験セミナー
参加者の声

なぜ、どうして、
がきちんと考えられる
環境があるのは素敵だ
と感じた（保護者）

普段していることも、本当
は疑問がいっぱいと気付けた。
これが学校の授業で定期的
にできるならいいと思った。
（小学5年生）

よく考えながら
楽しめた。
（小学5年生）



時間割 (例)

内容	月	火	水	木	金	土
1限	国語	社会	理科	音楽	数学	課外活動や部活動
2限	英語	数学	社会	国語	保健体育	
3限	理科	国語	数学	英語	美術	
4限	技術	家庭	英語	保健体育	国語	
5限	保健体育	英語	道徳	理科	社会	
6限	数学	理科	総合	学級活動	英語	
7限			総合		総合*	
放課後	課外活動や部活動					

- 国語の具体例（4ページ参照）
- 数学の具体例（同上）
- 社会の具体例（同上）
- 総合の具体例（6ページ参照）
- 英語教育の具体例（同上）
- 課外活動の具体例（同上）

※総合のうち週1時間は、英語を活用しながら教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習を行います。

MYPとは？

- 「MYP(ミドル・イェアーズ・プログラム)」とは、日本の中学校段階に相当するプログラムで、学習と社会のつながりを学習。具体的には、5つのテーマ(学習の方法、コミュニティーと奉仕活動、人間の創造性、多様な環境、保健教育と社会性の教育)をもとに、8つの教科(国語、英語、人文科学〔歴史や地理等〕、理科、数学、芸術、体育、デザイン)を学習する教科融合型の教育。
- 高知国際中学校では、平成32年8月にMYPの認定校となることを目指して、現在、準備中。よって、開校当初は試行期間(MYPと同様の内容)として行い、MYPの認定を受けたくうえで、正式に実施。なお、平成29年2月時点では、**関心校**。
〔「国際バカロレア機構」及び「文部科学省」のホームページから引用し、分かりやすく説明を加えたもの〕

具体的な学習内容

授業例 「詩」

国語

国際バカロレアで求められる力：論理的な方法で物事（事象）を整理し、自分の考えを述べる。

- 〔まず行う学習〕
- ・作者の気持ちを読み取り、内容を理解する学習
 - ・詩の朗読

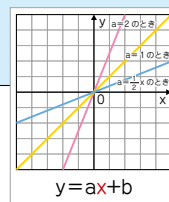
そのうえで 行う探究型学習	探究の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・作者はどんな意図で、その言葉を選んだのだろうか？ ・「なぜ」詩という手段を使って自分を表現しようとしたのか？
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・作者は「なぜ」その言葉を選んだのか、他に適切な言葉はないのかを考え、分析し、詩に対する自分の解釈を発表。 ・自分の詩について、言葉を選んだ理由をプレゼンテーションする。
	身に付く力	表現の変化が思考の変化とどのようにつながっているのか、他の場面にも応用できる能力。

授業例 「一次関数」

数学

国際バカロレアで求められる力：現象の変化はモデル化が可能であることを理解する。

- 〔まず行う学習〕
- ・一次関数について、例題や演習問題を解く学習
 - ・グラフや表を活用して、一次関数の変化の割合を理解する学習



そのうえで 行う探究型学習	探究の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・次のことは一次関数で表すことはできる？ 「イチローのヒット世界記録更新の日を、平均打率から予測」 「インターネットの検索数からヒット商品を予測」
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ」一次関数が必要とされたのかを考える。 ・社会の中で一次関数が「どのように」活用されているのかを調べ、発表し合う。 ・自分なら一次関数を生活の中で、どう活用していくのかを考える。
	身に付く力	数学に関する知識や考え方を、いろいろなできごとにも照らし合わせて活用していこうとする姿勢や意欲。

授業例 「EUと難民問題」

社会

国際バカロレアで求められる力：EU各国の視点から難民問題について説明できる。

- 〔まず行う学習〕
- ・EU加盟国の国名や地理について理解する学習
 - ・EU内の産業や交流について、資料等を活用して理解する学習



そのうえで 行う探究型学習	探究の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・EUにとって、難民問題が大きな問題になっているのはなぜだろうか？ ・イギリスのEU離脱と難民問題は、どのような関係があるのだろうか？
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・EU内の対立や格差、難民への対応等について、自らテーマを決め、地理的・歴史的背景を考えながら、調べ学習を実施。 ・「なぜ」難民問題があり、イギリスのEU加盟国からの離脱と難民問題は、「どのような」関係があるのか討議。 ・難民問題の日本や高知への影響について、自分の考えをまとめる。
	身に付く力	国家を超えたつながりが拡大することの意味を理解し、他の分野にも応用して考える力。

総合的な学習の時間

課題研究 「興味・関心」 × 個人研究 = 一人ひとりが、専門家！

1年生：出会う

学習活動や講演等を通して
興味・関心を抱く

2年生：深める

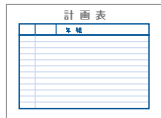
ミニ課題研究を通して
興味・関心を掘り下げる

3年生：究める

個人の興味・関心を追及し
研究をまとめる

4 整理・分析

得た情報をもとに、さらに課題を明確にし、どうすれば課題解決になるか、自分自身の考えを整理し計画を作成する。



(例)

- ・商品の良さを知ってもらう宣伝方法を検討
- ・具体的にどのような商品を製作するか検討

7 まとめ

実際に社会にどういった影響を及ぼしたのかを含め、課題設定から活動した過程や結果をまとめ、高校段階での課題論文の基礎を学ぶ。

(例) 決定したテーマについて考察し、7,000字の論文を作成



1 情報収集1

書籍やインターネットからだけでなくインタビューやフィールドワークなどによって他者と協働しながら、高知県のことについて学習する。

(例) 調査学習

2 課題設定

何を解決したいのか自ら課題を設定する。

(例) 高知の産品を使った商品づくりはどうすればよいか

3 情報収集2

自ら設定した課題について、いろいろな視点から再度、情報収集を行う。

(例)

- ・生産地に行ってフィールドワーク
- ・販売業者に流通について聞き取り



6 発表(行動2)

社会に提案する。校内で発表する。

(例)

- ・業者と協働して、商品を販売
- ・宣伝用ホームページの作成、掲載



5 具体的なものづくり(行動1)

計画の修正を行いながら、教科で学んだことを生かして、「かたち」にする。

(例) 高知の産品を使った商品づくりを行う



世の中のことを考える力を、英語でも！

グローバル社会で通じるコミュニケーション力を身に付ける英語教育を行います。一つの目標として、中学校卒業までに全員が**英検準2級の取得**を目指します。

英語教育

<p>1、2年次</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・週に3時間、英語を母語とする教員による授業を実施。 ・週に2時間、日本人教員とALT(外国語指導助手)による2人体制での授業を実施。 ・週に1時間、「英語で学ぶ」をテーマに、人間関係づくり、音楽、劇、論文を検索するなど、様々な分野について英語を活用して学習。授業は、英語教員とその分野を専門とする教科の教員の2人体制で実施。 	
<p>2、3年次</p>	<p>「総合的な学習の時間」を中心に各教科の授業でも英語の資料を活用したり、英語で書かれた研究論文などを踏まえて、生徒が自ら設定した課題についてまとめを行う授業を実施。</p>	

すべての生徒が行動に責任をもつ 奉仕 × 活動

高校での学習につながる活動として、身近な地域での**環境保全活動や地域のイベント等への協力**など、社会に貢献し、参画する力を身に付ける課外活動を行います。

活動については、「特別活動」の時間にオリエンテーションを行ったうえで、全て自分で企画・行動・振り返りをします。なお、**具体的な活動は、放課後や休日、長期の休みも活用**して実施します。

課外活動



1日の流れ

内容	時間	分
朝の学級活動	8:30 ~ 8:35	5分
1 限	8:40 ~ 9:30	50分
2 限	9:40 ~ 10:30	50分
3 限	10:40 ~ 11:30	50分
4 限	11:40 ~ 12:30	50分
昼休み(昼食)	12:30 ~ 13:15	45分
掃 除	13:15 ~ 13:30	15分
5 限	13:35 ~ 14:25	50分
6 限	14:35 ~ 15:25	50分
7 限	15:35 ~ 16:25	50分
帰りの学級活動	16:35 ~	

部活動

① 活動には、一定の制限を設けます

学習課題に取り組む時間の確保や、地域での課外活動を行う必要があるため、放課後や休日に行う部活動の時間を次のとおり制限します。

活動時間 原則、18時まで。早朝練習なし。

活動日 原則、月～金曜日のうち3日間と土曜日。日曜日の公式大会等に関しては許可制。

② 具体的な部活動

平成29年度中に検討し、お知らせします。

中学校の主な学校行事

学期	月	中高行事	中学校	学期	月	中高行事	中学校
一学期	4	●入学式 ●始業式	●新入生宿泊研修 (県内：1泊2日)	二学期	10	●中間試験	●海外修学旅行 (2年生：アジア方面予定3泊4日) ●遠足(1・3年生)
	5	●PTA総会 ●校内日本語プレゼンテーション大会 (中2～高3年生) ●授業参観* ●中間試験	●クラスマッチ		11	●校内日本語プレゼンテーション大会 (中1～高2年生)	
	6				12	●期末試験 ●保護者面談 ●終業式 ●冬季休業	
	7	●期末試験 ●保護者面談 ●終業式 ●夏季休業		1	●始業式		
二学期	8	●始業式	●I B校交流ワークショップ (県外I B校との交流を予定)	三学期	2	●練歩会	●「総合的な学習の時間」 発表会
	9	●体育祭 ●文化祭	●「合唱コンクール」		3	●学年末試験 ●卒業式 ●修了式	●イングリッシュキャンプ (1年生)

※授業参観やI B学習会等については、平日なども含め、年間複数回実施。

◆通常の授業時にも必要な試験等を実施。

◆英語外部試験(英語検定等)を受検していただく予定。

◆全国学力・学習状況調査及び高知県学力定着状況調査、全国学力推移調査等を実施。

高知国際高等学校

Kochi Kokusai Senior High School

- ・高校の全ての学科・コースにおいて、文系・理系を設け、進路希望と学びたいことに応じた授業を選択できるようにします。
- ・週に33時間の授業を予定しています。
※1週間で7時間授業を3日実施。



目標 国公立大学等進学者 125人以上（難関大学・医学部 10人以上、海外大学 5人以上）

【普通科 General Course】

外国の人々とコミュニケーションできる英語運用能力と、多様な進路選択を可能にする探究力をはじめとする確かな学力を育成する学科

1 多様な進路選択に対応

目標 英検2級
50%取得

- ・文系理系の多種多様な選択科目と専門的な学習内容、探究科目の実施
- ・大学進学や日常会話で活用できる英語運用能力を身に付けるために、英語の授業時間を拡大
※毎日、1時間以上、英語の授業を実施

2 主体性と自主性の醸成

- ・「グローバル探究」による活発なディスカッションやプレゼンテーションの場の設定
- ・国語、地理歴史、数学、理科、英語の5教科について、3年次において各探究科目を設定し、2年間の学びを生かして、自らテーマを設定した個人研究や実験、演習等を実施

【グローバル科 Global Course】

1年次から探究コースとI Bコースに分かれて学習します。

探究コース Inquiry Class

外国の人々と協働できる高い英語運用能力と探究力を身に付け、より高度な言語活動に取り組むことで、バランスのとれた国際感覚と行動力を育成するコース

1 興味を深化・発展させる学習活動

- ・様々な体験を通して、主体的な学びや協働する学びを深化させる学習として「人文探究」・「理数探究」を実施
- ・グローバル社会の中で共生・共存できる視点や方法を具体的に思考し、行動するための「グローバル探究」を3年間実施。（具体的には、調査、文献講読、実験、実習等を通して、自ら設定したテーマで探究的な学習に取り組み、論文執筆等のより高度な言語活動を実施）

2 高い志を育む教育活動

目標 英検準1級
100%取得

- ・海外短期留学（語学研修）や海外でのリサーチ活動等を実施
- ・志（夢や意欲、意志）を育む探究的な学習を実施

【グローバル科 Global Course】

IBコース International Baccalaureate Class

外国の人々と協働できる高い英語運用能力と探究力や
バランスのとれた国際感覚と行動力を育成するコース

① グローバルな視野と教養の醸成

目標 英検準1級
100%取得

- ・国際会議等での研究発表会に参加
- ・多様な価値観を受容する態度や行動力を育成する異文化交流を実施

② 国際バカロレア資格を生かした大学進学

目標 国際バカロレア資格
を全員取得

- ・文部科学省の学習指導要領で示された教科科目と、国際バカロレアのDP※下段参照の内容を併せて学習
- ・国際バカロレア資格（国際的に通用する大学入学資格）を生かした受験を想定し、国内外のグローバル化に重点を置く大学への進学に対応できる力を育成する学習

国内・海外大学における入試での国際バカロレア資格の活用導入状況

国の動向

一般社団法人国立大学協会は平成 27 年 9 月、推薦入試、AO入試、**IB入試の入学枠を入学定員の 30%に拡大**することを目標に盛り込んでいます。

導入済みの国内大学	導入を検討中の国内大学	導入済みの海外大学
筑波大学、東京大学、東京外国語大学、お茶の水女子大学、京都大学、大阪大学、岡山大学、広島大学、慶應義塾大学、国際基督教大学（ICU）、上智大学、法政大学、立教大学、早稲田大学、立命館大学 (掲載校含む 33 大学)	北海道大学、千葉大学、東京医科歯科大学、九州大学、明治大学 (掲載校含む 12 大学)	オックスフォード、ケンブリッジ、トロント、ブリティッシュコロンビア、メルボルン、シドニー等のイギリスやカナダ、オーストラリアの大学など

〔文部科学省〕ホームページからの抜粋 平成 28 年 8 月現在

※国内外の大学とも、全ての学部・学科ではありません。

※より詳しい内容は、「文部科学省」ホームページ「国際バカロレア 10 我が国の大学入学者選抜における取扱」をご覧くださいませ。

国際バカロレアの10の学習者像とは？	全てのIBプログラムは国際的な視野を持つ人間の育成を目指しています。人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識し、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する人間を育てます。 (高知国際中学校・高等学校では、この学習者像を大切にします。)	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>探究する人 Inquirers</td> <td>心を聞く人 Open-Minded</td> </tr> <tr> <td>知識のある人 Knowledgeable</td> <td>思いやりのある人 Caring</td> </tr> <tr> <td>考える人 Thinkers</td> <td>挑戦する人 Risk-Takers</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーションができる人 Communicators</td> <td>バランスのとれた人 Balanced</td> </tr> <tr> <td>信念をもつ人 Principled</td> <td>振り返りができる人 Reflective</td> </tr> </tbody> </table>	探究する人 Inquirers	心を聞く人 Open-Minded	知識のある人 Knowledgeable	思いやりのある人 Caring	考える人 Thinkers	挑戦する人 Risk-Takers	コミュニケーションができる人 Communicators	バランスのとれた人 Balanced	信念をもつ人 Principled	振り返りができる人 Reflective
	探究する人 Inquirers	心を聞く人 Open-Minded										
知識のある人 Knowledgeable	思いやりのある人 Caring											
考える人 Thinkers	挑戦する人 Risk-Takers											
コミュニケーションができる人 Communicators	バランスのとれた人 Balanced											
信念をもつ人 Principled	振り返りができる人 Reflective											
DPとは？	<p>○「DP(ディプロマ・プログラム)」とは、日本の高校段階に相当するプログラムで、所定のカリキュラムを2年間学んだ後の最終試験結果によって、国際バカロレア資格(国際的に通用する大学入学資格)が与えられ、その資格をもって海外や国内の大学に進学することが可能。</p> <p>○DPについては、IB認定校として認められた後に、教育活動を行うことができます。高知国際高等学校は、1期生が高等学校に入学する平成33年4月までに認定校となるよう準備中。なお、平成29年2月時点では関心校。</p> <p>(「国際バカロレア機構」及び「文部科学省」ホームページから引用し、分かりやすく説明を加えたもの)</p>	〔国際バカロレア機構〕ホームページからの引用										

校舎



一部吹き抜けの
ランチルーム（3階）

新校舎各階（共用棟）の主な教室等

4階	多目的ホール、部室 生徒会室
3階	ランチルーム、音楽室 日本文化学習室（茶室含む）
2階	生物室、化学室、美術室 書道室、コンピュータ室
1階	地学室、物理室、家庭科室 IB スタジオ、プレゼンルーム

北校舎（中学棟）の主な教室等

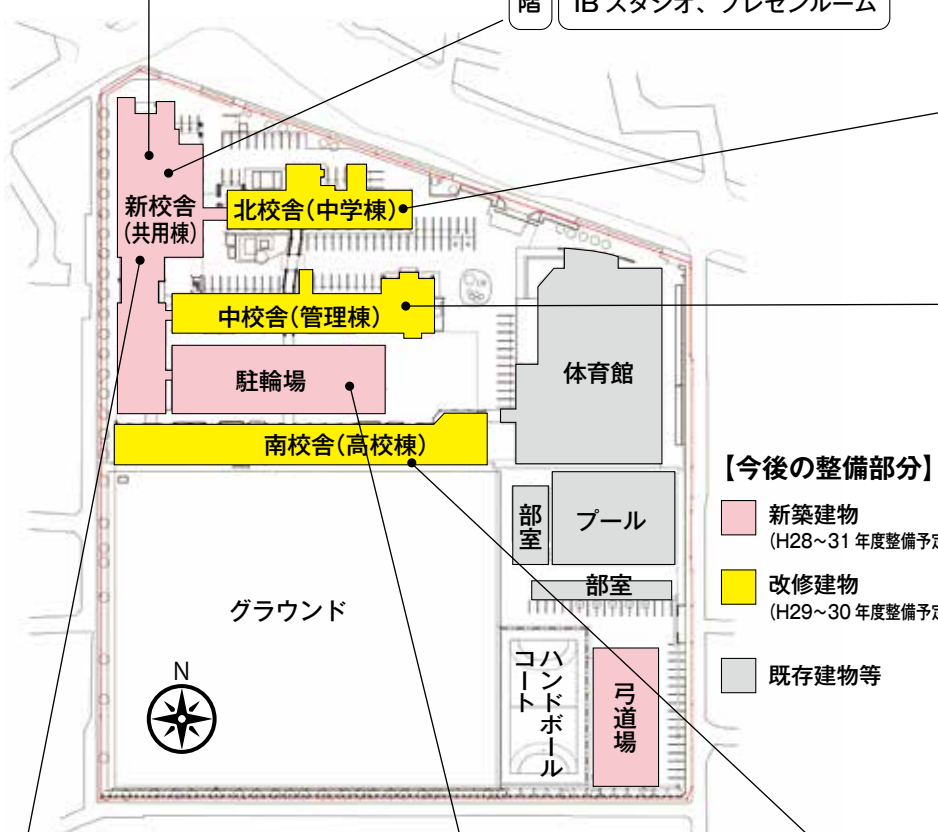
4階	3年生の各教室
3階	2年生の各教室
2階	1年生の各教室
1階	特別教室（木工・理科）

中校舎（管理棟）の主な教室等

3階	多目的教室、研究室
2階	図書室、中高合同職員室
1階	校長室、事務室、大会議室

南校舎（高校棟）の主な教室等

4階	3年生の各教室
3階	2年生の各教室
2階	IB コースの各教室
1階	1年生の各教室



多目的ホール（4階）



駐輪場（1階）・屋上庭園（2階）

スケジュール	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
新校舎建築		建築工事	駐輪場整備工事	弓道場等整備工事
既存校舎改修等			既存校舎改修工事	

Q&A

Q1 中学校入学までに英語ができることが必要ですか。

A1 中学校での英語の学習時間を通常の公立中学校よりも週2時間程度増やすことで、英語で話し合ったり、英語で発表する機会を設け、しっかりと学習していきます。よって、中学校入学までは、小学校での英語に親しむ授業をしっかりと受けておいていただければ、特別な勉強は必要ありません。

Q2 中学校の通学区域はどうなりますか。

A2 高知県内にお住まいであれば、どなたでも志願できます。なお、入学後は、保護者のもとから通学することが基本ですが、自宅が遠方で通学が困難な場合などは、祖父母や親戚宅等からでも可能です。詳細は、平成29年3月末に公表予定の「平成30年度高知県立中学校入学志願者取扱要項」と「平成30年度高知県立中学校入学志願者取扱要領」でご確認ください。

Q3 中学校に寮はありますか。

A3 寮を整備する予定はありません。

Q4 中学校の入試は、どのような内容ですか。

A4 現在、検討中です。主な内容は、志願理由書の(事前)提出、適性検査、面接、作文です。具体的なことは、決まり次第、県教育委員会事務局高等学校課のホームページ等でお知らせします。決定は、平成29年3月(入試日の正式決定は、平成29年5月)の予定です。

Q5 国際バカロレア教育は、いつから受けることができますか。

A5 認定前のため、試行となりますが、中学校の授業は、平成30年4月からMYPと同様の内容で実施します。なお、中学校のMYPは平成32年8月、高等学校のDPは平成33年4月の認定を目指して、現在、準備を進めています。

Q6 入学後、通常の市町村立や県立の学校と比べて、費用が多くかかりますか。

A6 【中学校】中学校は義務教育ですので、授業料は必要ありませんが、教材費等は他の県立中学校と同程度(教材費とPTA会費等で3年間:約12万円)必要です。なお、上記以外に、修学旅行費(海外を予定)や課外活動に伴う交通費や活動費が必要となります。

【高等学校】探究コースへ進学した場合は、県内の県立高等学校の進学校と同程度(教科書や教材の購入、模擬試験等で3年間:約18万円)必要です。

IBコースへ進学した場合は、IBの最終試験やテキスト代(約20万円)と、課外活動等に伴う交通費や活動費が必要です。なお、上記の費用以外に、保護者の所得によっては、高等学校の授業料として、年間約12万円が必要となります。これ以外にも部活動や修学旅行費用などが必要となります。

Q7 国際バカロレア資格(国際的に通用する大学入学資格)で、国内外の大学に進学できますか。

A7 国内では、現在、東京大学や慶應義塾大学をはじめとする国公立大学17校と私立大学16校が推薦入試を導入しており、九州大学(平成29年度)をはじめとする12校も推薦入試の導入を検討しています。海外では、国や大学ごとに入試の要件が異なります。イギリスやカナダでは、国際バカロレアの最終試験の成績と面接だけで入学できる大学があります。また、アメリカでは、大学入試の選考において、国際バカロレアの最終試験の成績も加味されます。

Q8 今後、学校説明会や体験授業を予定していますか。

A8 今後も、平成29年12月までの間に複数回、学校説明会や体験授業を開催する予定です。なお、日時については、決り次第、県教育委員会事務局高等学校課のホームページ等でお知らせします。

